



主催の松井愛さんをはじめ、海外でのチア経験が豊富なインストラクターや、様々な形でチアダンスに携わる審査員達が、幅広い視点から評価。結果は出るものの、順位ばかりには固執せず、お互いを讃えること

他のチアダンスの競技会との最も大きな違いはその独自の審査ポイント。2分30秒間の競技の完成度はもちろんのこと、努力しているか、感謝の気持ちや礼儀、そして人を心から応援する気持ちを持っているかなど、チアダンスにとって最も大切な「チアスピリット」が審査の大きなポイントとなります。

技術だけではなく「チアスピリット」を評価する大会
まずは2015年12月13日（日）に開催された「キッズチアダンスカップ2015」の様子取材しました。元々はアメリカンフットボール・リーグのイベントの一環として発足したこの大会、回を重ねるにつれ口コミで参加チームが増加し、今回は大阪市港区の大阪市中央体育館を舞台に、97チーム・計1114人ものキッズチアリーダー達が出場。「キッズ」「ジュニア」「ユース」の3つの競技部門と、賞の対象にはならない初心者向けの発表会「SHOWチア」も行われました。



を目的としていて、チアダンスへのモチベーションを維持できる心配りがなされた、温かみのある大会です。大勢詰めかけた観客の熱気があふれる会場で、色とりどりの衣装を纏ったキッズチアリーダー達が日頃の練習の成果を披露。充足感に満ちた笑顔を浮かべるキッズチアリーダー達に、惜しめない拍手が贈られました。また、出場者だけでなく、チア関係者や保護者ボランティアによる運営も、キッズチアリーダー達が少しでも演技に集中できるような細やかな配慮に満ちており、いたるところに「チアスピリット」が発揮される素晴らしい大会でした。



巻頭特集

CHEER UP! 笑顔と元気が チアの原点!

きらびやかな衣装にはじける笑顔。華やかなイメージの強いチアの世界ですが、高く飛び跳ねたり、人を持ち上げたりといった難度の高い技（スタント）を競う「チアリーディング」と、ジャズダンスやラインダンス、ヒップホップダンスなどの要素を含み、よりダンスとしての要素が高い競技の「チアダンス」に分かれているのはご存知でしょうか。今回は、近年注目を集めるチアダンスを取り上げます。

